

都心・三宮NEWS

vol.01

神戸市では、平成27年9月に神戸の都心の未来の姿【将来ビジョン】と三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。ここでは都心・三宮の再整備に関する最近の動きを紹介します。みなさんと一緒になって未来の神戸を創っていきましょう！

住宅都市局 都心三宮再整備課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL: 078-322-6934 / FAX: 078-322-6095 / MAIL: kobe-toshin@office.city.kobe.lg.jp

TOPICS

阪急三宮ビル建替計画について発表される！

震災以降暫定的な建物として開業されていた神戸阪急ビル東館の建替計画が、阪急電鉄より発表されました。この事業は神戸市が目指す「えき～まち空間」の創出につながる事業であり、三宮周辺地区の『再整備基本構想』を踏まえた計画となっています。(予定)ビル内の施設構成(地下3階、地上29階)：オフィス / 商業施設 / 宿泊主体型ホテル

駅ビルが心地よい空間に！

分かりやすい乗り換えルートへの改善

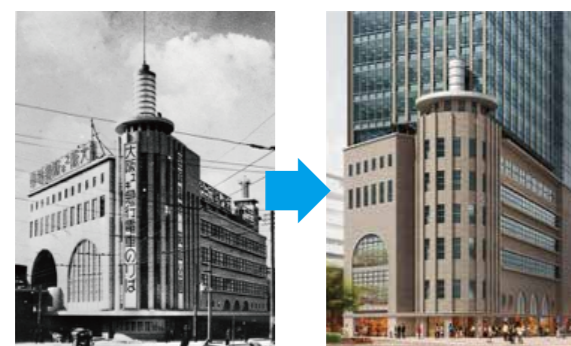
阪急(東改札口)⇄市営地下鉄

- ・バリアフリーのエレベーターの設置
- ・上り下りのエスカレーターを設置
- ・1階部分に利用者のためのゆとりあるイベントスペースを確保

人を惹きつけに残る景観形成

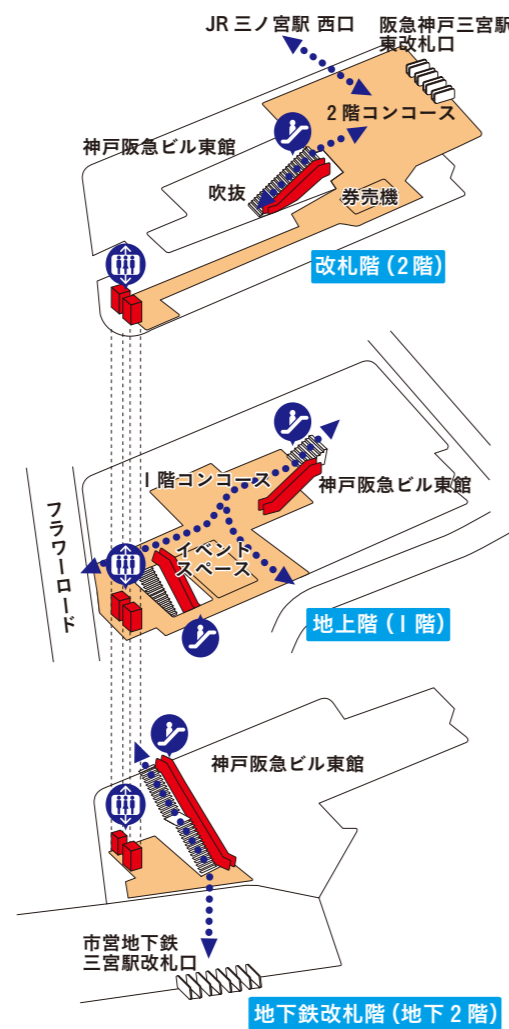
ビルの低層部において、旧神戸阪急ビル東館のデザインを採用

歴史と記憶を未来へと継承し、風格とにぎわいのあふれる外観を形成



旧神戸阪急ビル東館 建替後のイメージ(低層部)

最上階に港町・神戸の魅力ある景観が楽しめる開放的な展望フロアを整備



check!
都心・三宮の再整備に関する取り組み等の情報についてはFacebookページ「神戸の都心・三宮」
<https://www.facebook.com/kobetoshin/>
にて随時更新しています。



「えき～まち空間」ってなに？

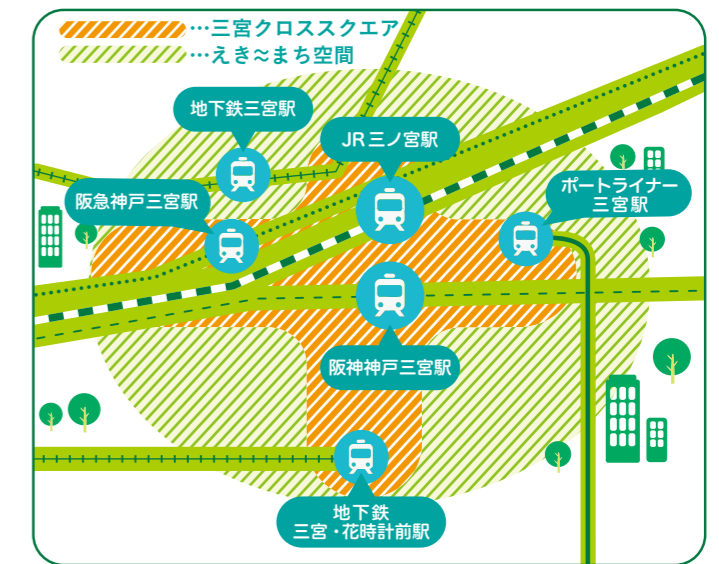
まちであり、駅である空間。「えき」(6つの駅とバス乗降場)と「まち」をつなぐ空間のことです。神戸の玄関口としてふさわしい空間を目指します。

「えき～まち空間」実現に向けて…

こんなことに取り組みます！

- ◎ 駅前の道路を自動車から【人と公共交通優先の空間】に
- ◎ 民間ビルも活用しながら地下・地上・デッキの3層をより【上下移動しやすい空間】に
- ◎ 神戸らしさが感じられ、印象に残る【玄関口にふさわしい駅前空間】に

この空間を実現するための骨格となるものが「三宮クロススクエア」です。



「三宮クロススクエア」ってなに？

三宮交差点を中心として、地区内の6駅(JR、阪急、阪神、地下鉄西神・山手線、地下鉄海岸線、ポートライナー)を結ぶフラワーロードおよび中央幹線の一部を、人と公共交通優先の空間にしたものです。三宮を訪れる人々の活動の拠点・基点として、「えき～まち空間」の象徴となるような空間づくりを目指します。

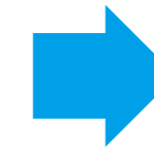
「三宮クロススクエア」の実現に向けて…

こんなことに取り組みます！

- ◎ 三宮の中心部を通過する自動車交通を外周道路へ誘導
- ◎ 分かりやすく使いやすい交通手段の検討
- ◎ 交通弱者の方や、商業者の荷捌きなどへの配慮



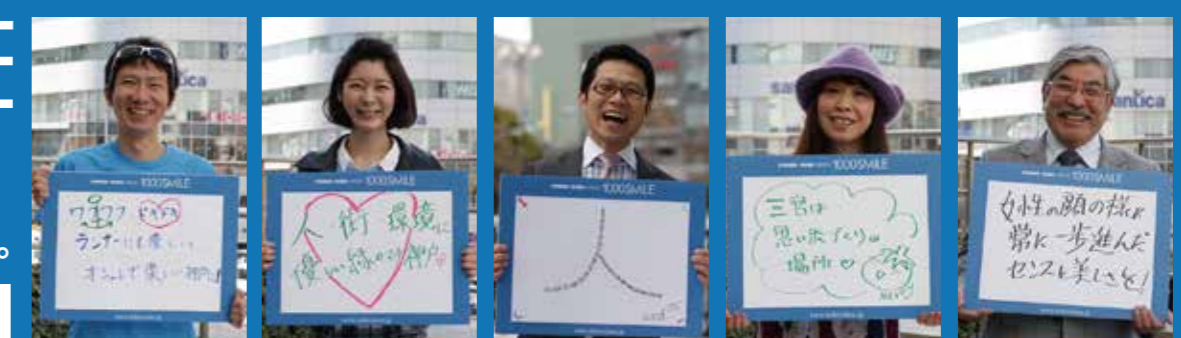
官民が連携し、こんな空間を目指していきます！



1000Smile
POWER・KOBE VISION

1,000人の笑顔と夢が
神戸の都心の未来へつながります。

神戸都市ビジョン 検索
<http://kobevision.jp>



神戸市が進める都心・三宮の再整備について神戸にゆかりのある皆様がプロモーターとなり、「神戸の都心が変わる!」というプロモーション活動を行っています。



えき〜まち空間 (三宮交差点を北方向に見る)



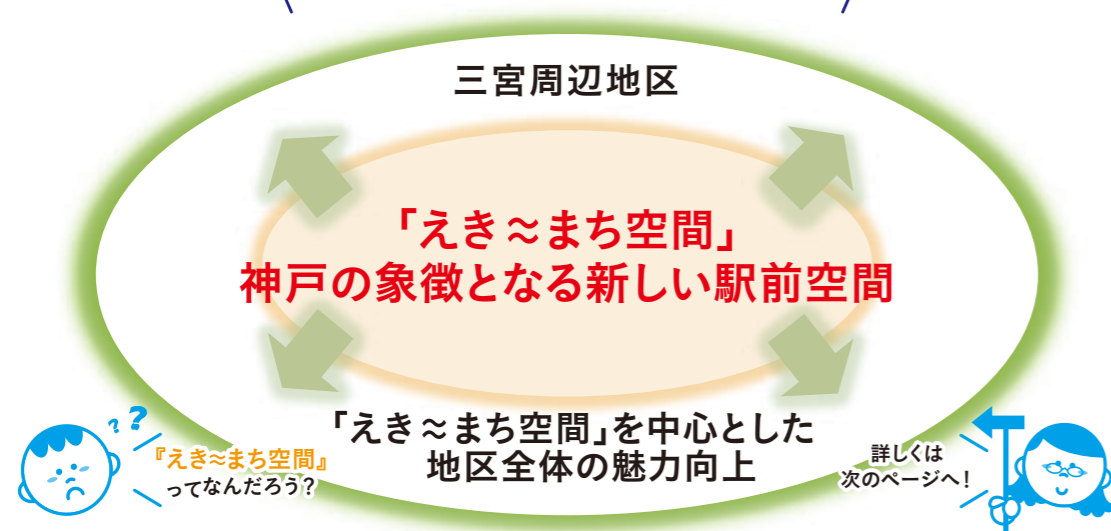
新港突堤からメリケンパーク方面を見る

三宮周辺地区の『再整備基本構想』

三宮周辺地区について、今後目指すべき姿や取り組みの方向性を示したものです。
『三宮周辺地区』は、三宮駅を中心とした半径500m程度の範囲を対象としています。

目指すべき将来像

美しき港町・神戸の玄関口“三宮”



風格ある街並みのデザインの誘導
景観デザインコードを設定することで建築物や公共施設のデザイン誘導、屋外広告物のコントロールを行い、神戸らしさを感じられる風格ある街並みを誘導します。



分かりやすいバスターミナル
現在分散している中・長距離バス乗降場を集約し、中央区役所の街区とミント神戸を一体的に利用したバスターミナルを新たに整備します。

神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン]

これから目指すべき神戸の都心像をビジュアルに表現することで
分かりやすく共感・共有しやすいものにすることに重きを置いて取りまとめたものです。

コンセプト: 日々の刺激と物語が生まれる美しき港町・神戸 ~多文化・多世代交流 あなたが参加しているまち~

都心の将来像を表現する3つの柱

心地良いデザイン

海と山を身近に感じられるコンパクトな都心の中に、活動しやすい空間が形成され、美しい景観や分かりやすいまちの情報が加わり、誰もが心地よく過ごし、働き、活動することができる。

出会い、イノベーション、そして文化

個性豊かな人やまちが育ち、神戸独自の文化がより一層醸成される。様々な人々の交流・融合により技術革新や新産業の創出が起こり、社会経済が持続的に、そしてグローバルに発展する。

しなやかで強いインフラ

復興の過程で培われてきた防災力や、誰もが動きやすく人にやさしい交通体系などを備えた、安全・安心な社会インフラが都市活動を支えることで、50年後、100年後にもずっと魅力的なまちであり続ける。

都心に備える8つの軸



素敵な人と新しい発想に出会う
心地良いまちには魅力的な人が集まってくる。クリエイティブな人たちが出会い、お互いを刺激し、新たなアイデアや事業を創出していく。



人と街に優しい乗り物
さまざまな新しい交通手段、シェアリングサービスや自動運転などの新しい仕掛けも積極的に検討する。



それぞれの想いで公園を楽しむ
例えば「東遊園地」のような都心にある公園や広場を、もっとたくさんの人が楽しく活用できる場として「活性化」する。